

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会

令和1年度事業経過報告

はじめに

少子高齢化や核家族化の進行、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化等により、地域住民の抱える福祉ニーズが多様化、複雑化しています。国では、地域住民の主体的な取組による「地域共生社会」の実現に向け、地域力強化推進事業、多機関の協働による包括的支援体制構築事業などの施策が打ち出され、人々の生活を支える基盤は「より身近な地域で」という明確な方向性が示されてきています。

そのような中、本会ではH30年度に第3期地域福祉活動計画（令和元年度～令和5年度）を策定し、令和元年度より新たな計画に基づき事業を推進してまいりました。

特に以下の8項目について重点的に取り組んでまいりましたのでその概要について報告します。

【重点的取り組みについて】

1. 幼いころから他者に対する理解や思いやりの心を育みあえるよう、当事者・地域ボランティア・教育委員会・学校・行政と連携して取り組みます。

例年の取組に加え、中学校で一昨年から実施している自分の地域の福祉活動を知る取組については、今年度も、各クラスにおいて公民の授業と関連づけ実施し、中学生の地域活動への参画の思いや取組への提案など、たくさんの意見を聞き取ることができました。次年度（令和2年度）は、この聞き取りを参考に、地域へのフィードバックと中学生との情報共有など次段階へステップしていきます。

また、教育委員会との連携については、適宜、情報交換し関係づくりを構築していく段階です。

2. 町行政と協働して地域力強化推進事業の推進を図ります。

地域福祉コーディネーターや地域福祉推進員が中心となり、福祉課と協働し地域力強化推進事業に取り組みました。令和1年度においては、生活支援コーディネーターの配置がなく、包括支援センターとの連携で事業を推進してまいりました。

また、地域支え合いしくみづくりモデル事業に参画し地域での話し合いの場に参加、意見交換、情報提供を行うとともに、社会福祉大会では、福祉マップの作成を寸劇で紹介し、地域での取り組みの導入を図るなど住民主体の地域福祉活動の推進に注力しました。

3. ボランティア活動や町民活動の充実を図り、ボランティア活動のきっかけづくりや多様なボランティア活動の推進に取り組めます。

例年の活動に加え、年度後半で予定していた、シニア世代のボランティアのきっかけづくりとなる先進地の視察研修が新型コロナウイルスの感染拡大の兆しが見られたことから延期となり、未実施となりました。

生涯現役事業では、地域でのボランティア活動につながるような回想法講座の実施、地域でのボランティア活動ワンディシェフの店『えんがわ』での運営ボランティアなど、活動の場の提供や活動のきっかけづくりを積極的に行いました。

4. 住民相互の地域での見守り・支え合い活動の充実を図り、防犯・防災等の安全なまちづくりを推進します。

近助事業の推進の一環として、社会福祉大会において、福祉マップ作りと関連付け座談会形式で地域の取り組みの紹介や今後の取り組みへの啓発を行いました。

また、ブロック別懇談会では、地区の取り組み段階に合わせてブロック分けし、ブロックごとに近助事業の取り組みの検討や、さらに平時の支えあい活動へとステップアップさせる取り組みなど検討をしました。

どの地区も他地区の情報を熱心に聞き、自治区で取り入れられることはないかなど、積極的な参加が印象的でした。

防災関係では、日本赤十字社第 4 ブロック合同災害救護訓練がドラゴンハットで開催されたことから、竜王町災害ボランティアセンターとして訓練に参画し、竜王町赤十字奉仕団にも協力いただきニーズの聞き取り、ボランティアの調整などの訓練を行った。

竜王町の防災訓練では、この体験を生かし、地域住民にも協力いただき、災害ボランティアセンターの運営訓練を行うことができ、被災者役として参加いただいた区長様にも災害ボランティアセンターの役割を知っていただくきっかけとなった。

5. 町行政と連携し、多機関の協働による多面的な支援を進めます。

竜王町多機関窓口連携キックオフ会議に参加し、支援体制の構築に向け各関係機関との情報共有を行いました。

また、社会参加に課題がある人を対象とした就労や社会体験の場を受入れていただく事業所の交流会を開催し、情報共有と実績報告、今後の取り組みに向けた課題の抽出を行いました。さらに、新たな事業所の開拓、利用者向けのチラシの作成、周知用ポスターの作成と啓発活動にも取り組みました。

6. 社協の協議体としての多様なネットワークを活かし、企業・商店の社会貢献活動や社会福祉法人の公益活動を応援します。

町内にある社会福祉法人が連携し、それぞれの立場から課題や情報を出し合い共有し、竜王町の地域福祉の推進のためそれぞれができること、連携してできることなどを考える連絡会を開催しました。

社会福祉法人は、それぞれの目的の違いにより考え方も様々で同じ方向に向くことは難しい部分があることを実感し、共同で行うこと、それぞれが補完しあうこと、単独で行うことへの協力など取り組みにより連携の方法を考えていく必要があると感じました。次年度も定期的に連絡会を開催し、情報共有・共同事業の実施など取り組みを推進します。

7. 本社協の自主事業である訪問介護事業の充実を図ります。

要支援・要介護状態の利用者の方が安心して在宅での生活が継続でき、自立した生活が送れるよう、身体介護・生活介護・通院介助サービスの提供および障害者自立支援法による身体介護・家事援助などの訪問介護サービスの提供を行いました。

また、一人暮らしの高齢者や視覚障がいの方への外出支援や日常生活への支援を実施するなど多様化する個々のニーズに対応できるよう職員の資格取得やスキルアップに努めました。

8. 地域の福祉活動拠点としてのふれあいプラザの活用を積極的に推進します。

鏡・弓削・鵜川ふれあいプラザで概ね60歳以上の方を対象に、介護予防を目的として生涯現役学習や趣味活動、健康維持、仲間づくり、ボランティア活動など様々な教室を開催し多くの住民の皆さまにご利用いただきました。

活動内容は年々充実し、特に今年度は、ボランティア事業と連携し、高齢者の地域貢献活動を視野に入れた取り組みを数多く展開してきました。利用者数も増加し、全国的に見ても介護予防事業への参加率は2割程度と高く、竜王町の元気高齢者を支える事業となっています。

また、未就園児とその保護者を対象に出張こどもひろばを開催し、親子の交流や各講座を通じて保護者の子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することができました。

(2)評議員会	10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度竜王町福祉大会について ・令和元年度竜王町福祉大会開催要綱について ・当日のタイムスケジュール、役員の役割分担、会場図について ・会長表彰者（団体）、県共募伝達表彰者（団体）、コンクール受賞者について ・賛助会費の依頼について
	令和2年 1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程」の一部改正について ・「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会労務職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程」の一部改正について
	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事務局長の解任」について ・「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事務局長の選任」について
	3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算（案）の承認について ・令和2年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画（案）の承認について ・令和2年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算（案）の承認について
	令和1年 6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ・平成30年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ・第23期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事の選任について ・社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款の一部改正について
	令和2年 3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算（案）の承認について

事業実施報告

1. 法人組織・事務局機能の強化

□ 法人運営機能の充実・強化

事業	実施状況	事業内容
(1)理事会	令和1年 5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ・平成30年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ・第23期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事候補者の推薦について ・社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款の一部改正について ・評議員の補欠選任候補者の推薦について ・令和元年度定時評議員会の日程および内容について
	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会長、副会長および常務理事の選出について
	8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款第26条の規程により、前会長の「顧問」就任の同意について
	9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・竜王町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について ・竜王町社会福祉協議会の組織および運営に関する規程の一部改正について ・竜王町社会福祉協議会会員および会費に関する規程の一部改正について ・竜王町社会福祉協議会事務局決裁に関する規程の一部改正について ・竜王町社会福祉協議会公印規程の一部改正について ・竜王町社会福祉協議会部会に関する設置要綱の一部改正について ・竜王町社会福祉協議会事務局文書取扱要綱の一部改正について

□ 役職員研修会の実施

事業	実施状況	事業内容
(1)役員研修	令和1年 7月8日 12月9日	・ 県市町社会福祉協議会事務局長セミナー ・ 県市町社会福祉協議会会長会会長・事務局長合同研修会
(2)職員内部研修会の実施	3月11日	・ 人権学習
(3)局内会議の実施	毎月第2水曜 毎月1回 2回/月	・ 地域シェア会議（地域福祉事業についての運営協議） ・ ヘルパー会議（訪問介護事業についての運営協議） ・ こどもひろばスタッフ会議（こどもひろばの運営協議） ・ 進捗会議（毎月の各事業間の情報共有と進捗状況の確認）
(4)研修会への参加	5月13日 6月16日 8月9日 8月26日 8月28日 9月3日 9月6-7日 9月13日 9月13日 10月29日 11月27-29日 12月21日 1月10日 1月24日 2月18日 2月21日 その他	・ 県内社協新任職員研修会 ・ 地域福祉権利擁護事業新任職員研修 ・ ひきこもり支援従事者基礎研修 ・ ひきこもり支援全国フォーラム ・ 精神障がい者地域生活支援研修会 ・ 安全管理者講習 ・ コミュニティソーシャルワーク研修 ・ ひきこもり支援従事者ステップアップ研修 ・ 認知症研修 ・ 食品衛生管理計画作成講習会 ・ 自立相談事業従事者養成研修 ・ 近畿地域福祉学会滋賀大会 ・ 県内社協新任職員研修会 ・ ひきこもり支援研修会 ・ 生活困窮者自立支援事業近畿ブロック研修会 ・ 滋賀県社会福祉学会 ・ 県、町、関係機関が実施する専門研修に積極的に参加した。

2. 安定した事業財源の確保

□ 会員会費の拡充

事業	実施状況	事業内容
(1)一般（世帯）会員の加入促進	4月	自治会の協力のもと、一般会員の募集を行い、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指した。 一般会費（世帯1,000円）会員数：1,372世帯 合計：1,317,922円（平成30年度1,365,619円）

(3)監事会	令和1年 5月30日	・ 令和2年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画（案）の承認について ・ 令和2年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算（案）の承認について
(4)会長・副会長・監事三役調整会議	令和1年 8月13日 令和2年 2月10日 2月13日	・ 令和30年度社会福祉協議会事業の執行状況および会計についての監査を実施した。 ・ 社協の組織編成について ・ 嘱託職員の採用について ・ 事務局長の解任と選任について ・ 新規職員（管理職員）採用について
(5)部門間調整会議	随時	・ 進捗会議や所内会議を活用し、業務上の基本方針や当面する課題についての協議および企画立案を行った。
(6)財務管理	年間	・ 税理士との委託契約により2カ月に1回および決算月に監査指導・助言を受け、適正な財務管理の執行に努めた。

□ 部会・委員会機能の充実・強化

事業	実施状況	事業内容
(1)法人運営部会	未実施	・ 部門間調整会議および理事会の中で対応した。
(2)地域福祉推進部会	9月10日	・ ブロック別懇談会の開催について（日程・内容等）
(3)在宅福祉事業部会	未実施	・ 令和1年度は、検討事項なく未実施。
(4)広報部会	4月16日 7月10日 10月7日 令和2年 1月8日	No.124号製作打合せ（5月1日発行） No.125号製作打合せ（8月1日発行） No.126号製作打合せ（11月1日発行） No.127号製作打合せ（2月1日発行）
(5)各種委員会	3月13日	◆ ボランティアセンター運営委員会 部門間調整会議等で協議したため、開催なし ◆ 善意銀行運営委員会 （詳細は2.に記載） ◆ 地域福祉活動計画策定委員会（詳細は3.に記載） 評価については、地域福祉推進部会にて行う予定

4. 地域づくり

□ 小地域福祉活動の推進

事業	実施状況	事業内容
(1)小地域支え合いの「近助」体制づくり	年間	<p>「近助事業」について、地域まちづくり交差点での概要説明、地域福祉ブロック別懇談会で事例紹介と体制づくりの推進を行い、小地域で近所同士の助けあいについて考えるきっかけとなり、西出地区では要配慮者のリストを整理され、「近助」体制づくりに向けて小口・山面・橋本・弓削地区で取組まれている。</p> <p>岩井地区で開催された福祉関係者の近助事業の検討会（10月27日）に出席し、今後の取組み方について、検討・アドバイスした。</p> <p>また、次年度に体制づくりを検討されるとして駕輿丁地区に情報提供を行った。</p> <p>西川地区では、地域支えあいしくみづくりモデル事業を実施する中で、自主防災組織づくりとその組織が平常時の活動に連携することなどを考慮し、体制づくりを進められている。</p> <p>竜王町社会福祉大会において、「近助」体制づくりについて西川地区から事例発表いただき、講師から「助けられ上手」について講話いただいた。</p>
	随時	<p>地域支えあい仕組みづくりモデル事業へ参画し行政と連携して地域支えあいの体制づくりを推進した。</p> <p>○今年度のモデル事業申請地区において、地域での検討会等に参加し、事業の進捗把握や推進支援を図った。</p> <p>山中地区 3回 9/17、10/24、2/4 川上地区 3回 8/22、11/15、2/8 弓削地区 1回 9/22 西川地区 3回 8/20、9/24、12/10</p> <p>○地域まちづくり交差点 5/18 ○推進プロジェクトチームの内部会議に出席 …7/27、2/18</p>
(2)福祉委員会活動への支援	随時 2回/年	<p>○地域支えあいしくみづくりモデル事業報告会の開催に協力 …2/21</p> <p>・27地区へ助成 その他の民間助成金について、情報提供を行った。 地区への社協職員による講師派遣、啓発活動を行った。</p> <p>・西山（西山地区住民対象研修）10/26 ・福祉の町づくり助成金について説明等を行った。</p> <p>・ふくしだよりを発行し、滋賀県社会福祉協議会や町などが主催する各種研修会の情報提供や、地域でのホットな活動</p>

(2)賛助会員・特別会員の加入促進	6月～ (11月強化月)	<p>企業、商店、個人の皆様に対し、郵送での協力依頼のほか、役員が計画的な連携のもとで全町的な協力依頼を行い、事業財源の確保に努めた。</p> <table> <tr> <td>賛助会員（2,000円以上）</td><td>企業・商店</td><td>118件</td></tr> <tr> <td></td><td>個人</td><td>38件</td></tr> <tr> <td>特別会員（10,000円以上）</td><td>企業・商店</td><td>40件</td></tr> <tr> <td></td><td>個人</td><td>7件</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>企業・商店</td><td>158件</td></tr> <tr> <td></td><td>個人</td><td>45件</td></tr> <tr> <td>合計</td><td colspan="2">983,000円（平成30年度 1,060,000円）</td></tr> </table>	賛助会員（2,000円以上）	企業・商店	118件		個人	38件	特別会員（10,000円以上）	企業・商店	40件		個人	7件	合計	企業・商店	158件		個人	45件	合計	983,000円（平成30年度 1,060,000円）	
賛助会員（2,000円以上）	企業・商店	118件																					
	個人	38件																					
特別会員（10,000円以上）	企業・商店	40件																					
	個人	7件																					
合計	企業・商店	158件																					
	個人	45件																					
合計	983,000円（平成30年度 1,060,000円）																						

□ 事業財源の募集

事業	実施状況	事業内容
(1)助成金の活用	随時	社協が直接受ける助成金はなかったが、地域を対象とした助成金を紹介し、地域内での小地域活動の充実を図った。
(2)広報広告募集 (3)入れ歯リサイクル事業	随時 年間	<p>広報広告の募集を行った。</p> <p>不要になった入れ歯を町内の歯科・病院などで回収していただきリサイクル業者に依頼し金属の部分を精製し収益を得た。</p>

□ 善意銀行の管理・運営

事業	実施状況	事業内容
(1)善意銀行運営委員会の開催	3月13日	<p>寄付受付状況・経理状況の報告。</p> <p>コミュニティカフェの立ち上げ3件の助成決定を行った。</p> <p>災害時に備えた費用の準備と必要時の活用のため、寄附金の一部を継続的に預金し管理している。</p>
(2)災害時等の支援に要する費用の管理	年間	

3. 地域福祉活動計画の進行管理

事業	実施状況	事業内容
活動計画の進行管理	年間	<p>第3期地域福祉活動計画について、概要版を作成して全戸配布し、福祉りゅうおうに4回連載記事を掲載し、計画内容の周知に努めた。</p> <p>また、地域福祉活動計画の冊子を作成し、自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員等へ配布した。</p> <p>地域福祉活動計画に沿って、今年度の事業計画を作成し、本計画の具現化に努めた。</p> <p>評価基準作成途中</p>

(8)地域カルテを活用した支援	年 間	<p>第1回 6/8 61食 第2回 9/14 56食 第3回 11/16 64食 第4回 1/18 71食 第5回 3/7 新型コロナウイルス感染防止のため中止</p> <p>小地域の福祉活動状況を把握するため、ここ数年分の地域の活動回数を集計した。また各地域にある医療機関等を確認した。</p> <p>地域への訪問記録を毎回作成し、その際知り得た地域の実態を事務局内で共有し、地域課題を抽出した。</p>
(9)職員のスキルアップと情報共有のための学習会や会議の開催	適宜	必要時に事例検討会を開催し情報の共有を行い、社協全体で課題解決に向けた検討を行った。

□ 地域福祉コーディネーターの設置・充実

地域福祉コーディネーターおよび地域福祉推進員は、地域での福祉課題に対し地域の関係者と専門職で連携を図りながら解決策を考えていくための重要なつなぎ役を担う。

事 業	実施状況	事 業 内 容
(1)課題への早期 対応・予防	年 間	地域住民や福祉関係者の困りごとについて、適切な相談窓口 機関へスムーズにつながるよう支援した。
(2)アウトリーチ による相談支援 体制の強化	年 間	地域に出向き、地域住民との関係を築き、制度の狭間に陥った り、支援につながりにくいケースをキャッチするよう取り組ん だ。地域福祉推進員が町内各地区を分担し、地域福祉コーディネ ーターと連携して福祉委員会活動や自主活動グループの活動状 況の把握とともに、担い手との交流や相談・支援に努めた。
(3)住民主体の 活動支援	年 間	福祉のまちづくりのキーパーソンとなる人材の発掘。住民主 体活動の芽生えや発展への支援。よい取り組みを他地域に紹介 し、地域を越えた活動者のつながり、連携への支援を行った。 訪問実績 *おたっしや教室 15 件 *コミュニティカフェ 34 件 *高齢者サロン 1 件 *シニア自主グループ 1 件 *地域の行事（福祉委員会・自治会） 14 件 *老人クラブ 1 件 *地域と施設の交流 20 件 *子育てサロン 1 件

(3) 福祉関係三者研修	5月18日	<p>の発信を行った。</p> <p>H31.4月号、R1.12月号</p> <p>各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、福祉委員、民生委員児童委員の方々をはじめ、福祉委員会構成員が協力して取り組みを進められるよう、三者を対象とした研修会を実施し、地域自身の課題解決力の向上を図った。</p> <p>・地域まちづくり交電会（町と共催）</p>
(4) 地域福祉ブロック別懇談会	10/8、9、10	<p>事前アンケート（小地域福祉活動状況調査）を実施し、地区ごとの災害を見据えた近助体制づくりの回答内容に基づき、3ブロックに地域分けして開催した。</p> <p>「近助事業」について、事例発表や情報提供を行い、体制づくりのきっかけとすることができ、また推進が図れた。</p>
(5)居場所づくりの支援	年 間 随 時	<p>隣近所の人たちが誰でも交流できる、昔の「縁側」のような地域の居場所づくりを支援した。（コミュニティカフェ、ふれあい喫茶活動など）</p> <p>・いつまでも元気クラブ「ワンデイシェフの店 えんがわ」とコラボレーションした「社協のコミュニティカフェ えんがわ」を毎月開催し、住民の憩いの場を提供した。また、菜の花グループの協力を得、コーヒーサービスも実施した。</p> <p>・コミュニティカフェ助成…3地区（七里、山中、小口）</p> <p>・地域福祉推進員、地域福祉コーディネーターのカフェの訪問や、担い手さんへの情報提供、カフェ交流・視察の支援等を行った。</p>
(6)物品の貸出し	年 間	<p>研修用機材の整備、貸し出し</p> <p>レク用品・イベント用品の貸し出し</p> <p>レク用品の貸出 40件</p> <p>イベント用品の貸出 鉄板一式など2件・かき氷機1件 綿菓子機9件・ポップコーン機9件</p> <p>紅白幕の貸出 7件（24枚）</p>
(7) 見守り配食事業	4回/年	<p>ボランティアの協力により、温もりのある季節ごとのお弁当を作ってもらい、一人暮らし高齢者の方への配食を通じ、民生委員児童委員と連携して心身の変化などの実態把握を行い、記録を作成するとともに、課題をもつ方については、関係機関と連携し、支援へとつなげた。</p>

(3) 福祉教育の支援	随時	<p>町内の小中学校に対し、福祉体験の指導や講義などで総合学習における支援を行った。</p> <p>《竜王小学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験（9/26） ・視覚障がい者理解・点字体験（10/30） ・高齢者の理解・高齢者疑似体験（10/4） <p>《西小学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験（10/16） ・視覚障がい者理解・点字体験（10/9） <p>《竜王中学校》</p> <p>各地域の取り組みについて（2/17）</p> <p>～少子高齢化について考えよう～</p>
(4) プチどら★にこにこプロジェクト	1/17 年間	<p>教育委員会主任会議において、社協が推進する福祉学習の趣旨について説明し、小中学校や幼稚園に理解を進めることができた。</p> <p>未就園児と父母が毎月1回ずつ、2か所の高齢者施設を訪問し交流した。また、「小規模多機能事業所山かがみ」への訪問を2回実施した。高齢者の生きがい感の向上に貢献し、子育て世代の繋がりを深め、感動をわかちあいながら楽しく社会参加した。</p> <p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> *わかすぎの丘訪問(2・3月：新型コロナウィルスにより中止) 10回 延べ親 47人 子 55人 *希望の家訪問(2・3月：新型コロナウィルスにより中止) 10回 延べ親 41人 子 46人 *山かがみ訪問 2回 延べ親 9人 子10人 *にこプロセミナー 1回 親 17人 子22人 *ボランティア交流会 1回 延べ親 5人 子 4人 *ボランティアリーダー&サポーター会 7回 延べ38人
(5) 福祉講座・研修会の企画運営	年間	<p>研修会・講座を通して、ボランティアの育成及び地域で活躍できるよう支援に努めた。</p> <p>〔開催講座等〕（参加者数）</p> <ul style="list-style-type: none"> レクリエーションネタ持ちより交流会（10人） 中学生向けのボランティア入門講座（23人） ボランティア交流新年会（28人）
(6) シニア世代の地域活動への参加の推進	6月22日 8/5-8 1月25日	<p>シニア世代を対象とした、福祉先進地区への視察研修に向けて実施内容を検討・協議を行った。</p>

(4) 社会福祉法人の公益的取組に向けた活動	年間	<p>*地域福祉委員会会合 1件</p> <p>*当事者団体の活動 3件</p> <p>*こども会活動 1件</p> <p>*電話、訪問、来所による相談や連絡調整 62件</p> <p>コミュニティカフェの充実・拡大に向けて、カフェの冊子の作成を行った。</p> <p>万葉の里、やまびこ作業所、ひまわり保育園が参加し、社会福祉法人の公益的取組について協議した。</p> <p>社会福祉法人が連携し、各事業所の課題や情報を共有し、地域福祉の推進のためにそれぞれ取り組んでいること、今後取り組めることはないか、連携してできることはないかを話し合った。</p> <p>今後法人間で連絡を取り合うことが決まった。</p>
(5) 企業・商店等とつながる仕組みづくり	年間	<p>竜王町産業フェア実行委員会に募金商店プロジェクトの趣旨説明と協力依頼を行い、16店舗の協力を得ることができ、寄付商品の販売を実施した。</p>

5. 地域を支える人づくり

□ ボランティアセンター機能の充実

事業	実施状況	事業内容
(1) センター機能の強化	年間	<p>ボランティアセンターとして、日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行った。</p> <p>広報掲載によりボランティアの発掘・ボランティア活動の啓発を行った。</p> <p>ボランティアの組織化（グループ化）に向けて実態把握に努めた。</p> <p>ボランティアルームの所在等をボランティア団体へ伝え、社協事務所内のボランティアルームの活用促進を図った。</p> <p>・ボランティア斡旋件数：斡旋29件、延べ連絡調整174回</p>
(2) ボランティア活動の啓発	年間 4回/年	<p>事務所前に設置したボランティアコーナー（掲示板）や広報紙、町公民館に設置してある「社協常設展示コーナー」、ホームページを活用し、身近なボランティア情報を提供したり、ボランティア保険の加入促進等に努めた。</p> <p>2019年度加入実績：ボランティア活動保険 814人 ボランティア行事用保険 29件</p> <p>社協広報「福祉りゅうおう」に「ボランティア通信」を掲載し、年4回発行した。</p>

(3)こどもひろば	5回/週	<p>未就園児とその保護者を対象に、下記の内容で親子の交流や各講座を通じて子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援した。</p> <p>保健センター2階で月～金曜日の週5回開催 開催日数 215日 参加者数 延べ5240人 (保護者2294人 子ども2946人) 3月、新型コロナウイルス感染防止の為中止</p> <p>[活動・支援内容]</p> <p>①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と親しむ事業 お花見会 朝顔の種まきとプチトマトの苗植え 芋掘り&梨狩り どんぐり拾い ・親のリフレッシュ なんでもリサイクル 菜の花カフェ ・遊びの工夫 季節の遊び講座 (こいのぼり作り 公民館で遊ぼう 図書館へお出かけ 小麦粉粘土、シャボン玉遊び 七夕飾り 水、プール遊び 白玉粉粘土 運動会ごっこ クリスマス会 豆まき ひな祭り等) <p>②子育てに関する相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもひろば開催時、スタッフによる相談(随時) <p>③地域の子育て関連情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもひろばだより」の発行(毎月) ・各種セミナー等の案内(随時) ・フェイスブック、ホームページの活用 <p>④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施</p> <p>歯のおはなし 児童虐待防止講座 精神保健講座 応急手当講座 おたんじょう会 絵本のひろば等</p> <p>⑤地域の子育て力を高める取り組み(異年齢との交流)</p> <p>中学生ボランティア体験 青年団との交流 中学生チャレンジウィーク シルバー人材センターボランティアとの交流 菜の花グループさんの流しそうめん 民生委員さんとの交流 いつまでも元気クラブの皆さんとの交流</p> <p>⑥子育て講習会の開催</p> <p>3B体操 大林和美先生 …11/3(日) 参加者数 69人</p>
-----------	------	--

(6)社会参加に向けた支援	年間	<p>竜王町発達支援課自立支援ルームの利用者の方や健康推進課の相談者への就労支援の一助として、就労体験へのステップとしてのボランティア体験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入事業所の発掘と事業所との連絡調整 ・ボランティア体験への同行 ・ボランティア体験後の評価と今後に向けての考察など ・受入事業所の交流会を実施
(7)災害時ボランティアセンターの体制作り	6/15 9/8	<p>日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練において「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施した。</p> <p>竜王町防災計画を基に、災害時の支援マニュアルを作成し、本会としての具体的な対応策を明確にしている。</p> <p>竜王町総合防災訓練に参加し、地域参加の綾戸、島、駕輿丁、田中、岩井、川守自治会より各2名の住民さんにもご協力をいただいて一緒に災害ボランティアセンター運営訓練を行った。</p>

6. 仲間づくり・生きがいつくり

□ 各種サロン・講座の開催

事業	実施状況	事業内容																		
(1)生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」	年間	<p>鏡・弓削・鶴川ふれあいプラザで概ね60歳以上の方を対象に、介護予防を目的として生涯学習や趣味活動、健康維持、仲間づくり、ボランティア活動など様々な教室を開催した。 (詳細はP27参照)</p>																		
(2)いきいき趣味活動(高齢者趣味活動)	各講座 1~2回/月 程度	<p>ふれあいプラザにおいて、カラオケ・健康料理・書道教室・編み物手芸教室など各種講座を実施。</p> <table> <tr> <th></th><th>回数/年</th><th>のべ参加人数/年</th></tr> <tr> <td>カラオケサロン</td><td>54回</td><td>352人</td></tr> <tr> <td>健康料理教室</td><td>22</td><td>211</td></tr> <tr> <td>書道教室</td><td>22</td><td>202</td></tr> <tr> <td>編み物手芸教室</td><td>22</td><td>165</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>120</td><td>930</td></tr> </table> <p>・7/12~15 文月発表会 編み物手芸の作品を展示 ・11/1~4 文化祭 編み物手芸・書道の作品を展示</p>		回数/年	のべ参加人数/年	カラオケサロン	54回	352人	健康料理教室	22	211	書道教室	22	202	編み物手芸教室	22	165	合計	120	930
	回数/年	のべ参加人数/年																		
カラオケサロン	54回	352人																		
健康料理教室	22	211																		
書道教室	22	202																		
編み物手芸教室	22	165																		
合計	120	930																		

4) 退職シニア世代へのアプローチ	⑦学年別ひろば			
	鏡ふれあいプラザで0歳児・1歳児・2歳児の親子ふれあい教室を8月除く5月～1月に開催した。			
	びよびよ (0歳児)	よちよち (1歳児)	わくわく (2歳児)	
	開催回数	8回	8回	8回
	参加者数	220人	240人	166人
	〔保護者	104人	117人	74人
	子ども	116人	123人	92人
	〕			
	友だちづくり ミュージック・ケア ぷち保健講座、子育て講座 親子クッキング 親子でお出かけ 手作りおもちゃ お別れ会 等			
	退職シニアボランティア菜の花グループにワンデイシェフえんがわでのコーヒースerviceやこどもひろばへの協力を依頼するなど、活動の場の創出と連携に努めた。			

□ 当事者団体への支援

事業	実施状況	事業内容
(1) 当事者団体支援	年間	<p>団体事務の補助・自立に向けての支援</p> <p>各種事業への参加・協力。団体運営の支援を行った資金の助成</p> <p>【主な団体】</p> <p>◆視覚障害者友の会 歩行訓練同行（ローザンベリー多和田）6/4</p> <p>◆母子福祉のそみ会</p> <p>◆手をつなぐ育成会 滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会への出役</p> <p>◆その他 滋賀県身体障がい者福祉大会への出役</p>
(2) 一人暮らし高齢者支援事業	2回/年	<p>6/18・・・交流会 参加者 15名</p> <p>12/17・・・クリスマス会 参加者 25名</p> <p>ボランティアによる余興や職員のレクリエーションを実施。食事を摂りながら参加者や民生委員との交流を深めていただいた。（共同募金の配分金を活用。）</p>

7. 主体的な活動への支援

□ 福祉活動団体への助成

事業	実施状況	事業内容
(1)福祉団体への支援	随時	自主的に福祉活動を行う福祉団体や老人クラブ連合会からの申請に基づき、運営費の一部を助成し活動の充実に努めた。
	随時	町内の小・中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行うことで福祉教育の充実を図った。

8. 相談・支援事業の充実

□ 定期相談の継続・専門相談の充実

事業	実施状況	事業内容
(1)心配ごと相談所の開設	3回/月 4回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・竜王町勤労福祉会館にて開設 相談員延べ人数 79名 相談件数 12件 相談内容 住宅1件、家族3件、結婚2件、財産4件、その他4件 (相談件数1件につき重複あり) ・弁護士による無料相談会を実施した。 6/14、9/27、12/13、3/19・・・相談12件 ・広報紙、ホームページ等により相談所の実施について周知を図った。
(2)生活困窮者自立相談支援事業	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内で課題となっているケースの把握や対象者の実態把握に努めた。
①対象者の発見	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員さんと連携をして、地域内で課題となっているケースの把握に努め、対象者の実態把握を行った。 ・生活福祉資金返還滞納者へ文書を送付し、対象者の実態把握を行った。
②相談受付	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・町福祉課や健康推進課、その他竜王町の各担当課と連携し生活困窮に関する相談に対し協働して対応し、本事業または他の制度の利用や専門機関の紹介などスムーズな支援を図った。
		新規相談件数 3件 情報提供や相談対応で終了した件数 1件 他の制度や専門機関へつないだ件数 2件 支援の同意に向けて対応中の件数 0件

2019

□ 広報活動

事業	実施状況	事業内容
(1)「福祉りゅうおう」の発行	5/1 8/1 11/1 2/1	No.124号 社協活動への住民参加の促進とPRに努めた。 No.125号 // No.126号 // No.127号 //
(2)福祉委員便りの発行	2回/年	滋賀県社会福祉協議会や町などが主催する各種研修会の情報提供や、地域でのホットな活動の発信を行った。 「ふくしだより」の発行。 4月、1月
(3)こどもひろば便りの発行	毎月1回	こどもひろば便りを活用し、事業の近況報告やお知らせなどを行った。 参加者の募集や月間の予定をお知らせし、事業への参加者の拡大を図った。
(4)プラザだよりの発行	毎月1回	町内3つのふれあいプラザで実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの情報を「プラザだより」として毎月発行し、高齢者の健康維持に役立てて頂くため、参加者を募集した。
(5)ホームページの管理	随時	ホームページを活用して、事業内容の説明や広報の閲覧、町内外で活躍されているボランティア団体の紹介など情報発信をした。ホームページの閲覧によるボランティア依頼が増えた。 町民が円滑に社協の福祉サービスや地域福祉関連の助成制度を利用できるように情報提供や様式をダウンロードできるようにした。
(6)フェイスブックの管理	年間	こどもひろばのタイムリーな情報や子育て情報の発信を行った。
(7)LINE@の活用	随時	スマートフォン等を利用したLINEアプリによる情報提供を行えるよう、整備した。
(8)公民館の掲示板の活用	随時	公民館の交電フロアに常設の展示コーナーを設置し、事業の紹介・参加者の募集・講座の案内などを行った。

(2)日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)による支援	年間	判断面で日常生活に不安のある高齢者や障がいのある方等を対象に、他職種との連携を図りながら日常生活での困りごとなど生活全般に対する相談に応じるとともに、生活費のお届けや福祉サービス・行政手続きを本人と同行あるいは代行することにより、利用者さんの自立を支える支援を行った。 今後ますます、複合的な課題への支援が求められていくと考えられ、利用者数の増加で個々への対応回数が著しく増加していることや、その支援内容が複雑かつ困難化してきていることもあり、引き続き生活支援員の補充・育成に努めた。 また、相談から契約へのスムーズな対応を図り、契約待機者はなし。 ・新規契約数：3件（高齢1、知的1、精神1、その他0） 終了契約数：6件（死亡4、親族への移行1、成年後見制度への移行1） 現在契約総数：25件（高齢10件、知的9件、精神5件、その他1件） ・相談、支援回数：1,118回/年
(3)成年後見制度への移行支援	必要時	成年後見サポートセンターE-SORAとの連携を図った。役場福祉課と移行が必要なケースについて情報共有し、連携した移行支援を行った。

9. 調査・広報活動の充実

□ 調査活動

事業	実施状況	事業内容
(1)要援護世帯の把握と対応	年間	訪問介護事業、民生委員児童委員、福祉委員等の方がたからの情報収集を行った。 生活支援体制整備事業を推進する中で、福祉課や関係機関との情報の共有により、要援護世帯の把握を行う機会が得られた。
(2)一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等の把握		見守り配食事業でのチェックシートの作成と情報の更新、共有を行った。 歳末たすけあい事業おせち料理宅配助成を通じた高齢者のみ世帯等の見守りと状況の把握に努めた。
(3)地域のニーズの把握		「ニーズ発見ノート」の活用…職員が常に携帯し、常にアンテナを立てて、情報の収集に努めた。

(3) 平和祈念事業	7/1 7/27	戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町および社協主催で第9回竜王町平和祈念式を開催した。
(4) 社会福祉大会の開催	11/9	<p>『おたがいさんのまちづくり』をテーマに掲げ開催した。</p> <p>第1部 式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協会長表彰 ・感謝状の贈呈 <ul style="list-style-type: none"> 表彰状 7人（団体） 感謝状 5人（団体） ・竜王町共同募金委員会会長賞状贈呈 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 むりえ・ポスター・川柳・書道コンクール 各最優秀、優秀賞 <ul style="list-style-type: none"> むりえの部（4歳児・5歳児） ポスターの部（小学生） 書道の部（小学生） 川柳の部（中学生・一般） ・滋賀県共同募金委員会会長表彰・感謝状の伝達表彰 <ul style="list-style-type: none"> 表彰状 1人 感謝状 1団体 <p>第2部は、「ご近所さんはご近助さん」をテーマに住民流福祉総合研究所研究員の吉村了子氏をコーディネーターとして迎え、「支え合いマップづくり」の公開作成（寸劇）や地域で取組まれている「地域支え合いしくみづくり」について西川地区に事例発表をしていただいた。当日は、来場されたフロア内の方々も交えて、活動事例や活動者の想いをお聞きし、参加された方々に地域の活動を知っていただく機会となった。</p> <p>また、展示スペースでは、社協の事業紹介や福祉活動者自ら地域の活動を紹介するポスターを作製いただき、掲示を行った。</p> <p>コミュニティカフェボランティアによるコーヒーサービス、ボランティア団体や幅広い年齢層の方に参加していただき、盛大に開催することができた。</p>

10. その他

□ 関係機関との連携・支援

事業	実施状況	事業内容
(1) 関係機関との連携	年間	行政関係機関、福祉関係施設・団体との連携 諸事業への参加協力・活動費等支援
(2) 事務局支援	年間	事務局の運営、または運営補助 事業の実施・協力・助成金支援
		<p>【事務局を預かっている団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 竜王町共同募金委員会 （詳細は共同募金委員会事業報告等参照） * 日本赤十字社竜王町分会 会費の募集と収納作業 赤十字奉仕団との連携 * 遺族会 会の運営支援 役員会等の開催 * 護国社奉賛会 護国社大祭の執行 * 民生委員児童委員協議会 企画委員会・定例会の開催事務 民児協会計処理 多機関との連携サポート 県外研修の同行（5/27-29）

□ その他の事業、啓発活動等の実施

事業	実施状況	事業内容
(1) 共同募金運動の推進	年間	募金活動の推進 配分活動の実施 要援護世帯支援、小地域ふれあい事業、福祉団体への事業助成を行った。
(2) 社会を明るくする運動 重点活動日	7/1～7/31	社会を明るくする運動、青少年健全育成活動への協力。 のぼり旗、ポスターの掲示等啓発活動を推進した。 愛の学校訪問、町長へ内閣総理大臣メッセージ伝達

□ 車椅子・ベッドの貸し出し

事業	実施状況	事業内容
(1)福祉用具貸与事業	年間	在宅生活において、車椅子・ベッドが必要な方に対して無料で貸し出しする。 車いす貸出29件(53台) 介護ベッド貸出0件 福祉用具の在庫管理・メンテナンス等 7/4 車いす点検・整備 8月 車いす配分(12台を希望された自治会へ配分)

12. 介護予防への取り組み

□ 介護予防拠点施設の管理・運営

事業	実施状況	事業内容
(1)プラザの管理	年間	町より鏡・弓削・鶴川の3ふれあいプラザを指定管理者制度により社協が管理を受託している。 ・日々の清掃(社協職員) ・消防設備点検2/7 ・カーペット洗浄2/21 ・草刈 弓削/シルバー人材センター2回・職員2回・除草剤散布2回 鏡/シルバー人材センター2回・職員1回・除草剤散布2回 (鶴川プラザは全面舗装) ・外回り 12/25 弓削プラザ ・座布団日光干し&カバーの洗濯 3/9~23 (修繕or交換) 鶴川プラザ 誘導灯の交換・ガス管修理・LED蛍光灯に交換 弓削プラザ パーテーション修理・調理室水漏れ修理 鏡プラザ 窓ガラス破損修理 (その他) 5/23 各プラザに血圧計設置(健康推進課)
(2)プラザの運営	年間	介護予防・地域交流・ボランティアの活動場所として活用されるよう運営した。 総利用人数(年) 鶴川プラザ 269回/3863人 弓削プラザ 142回/1851人 鏡プラザ 166回/2444人

11. 在宅福祉サービスの充実

□ 介護サービス事業所の運営

事業	実施状況	事業内容
(1)訪問介護事業	年間	要介護状態の利用者の方が、安心して在宅での生活が継続できるよう、身体介護・生活介護・通院介助サービスの提供を行った。 ⇒延べご利用者数 2417人(月平均201人) ヘルパー等による福祉有償運送(78条許可)121回(年間) 専門的なサービスを必要とする要支援状態の利用者の方が自立した生活を送れるよう、身体介護・生活介護サービスの提供を行った。 ⇒延べご利用者数 25人(月平均2人)
2)介護予防・日常生活支援総合事業	年間	介護保険制度の対象サービス(訪問介護事業)で対応出来ない方の介護サービスの提供を行った。 ⇒3回(年間)
(3)介護保険外サービス事業	年間	介護保険サービス以外に、外出手段のない一人暮らし高齢者・障がいのある方を対象に比較的割安な料金で外出支援を行った。 ⇒延べご利用者数 31人(月平均3人)
(4)外出支援サービスの実施	随時	介護保険等サービス利用者で低所得世帯の方に対して利用料金の一部負担を行うことにより利用を支援する。 ⇒延べご利用者数 12人(月平均1人)
(5)利用者負担減免の実施	随時	福祉有償運送運転者講習会の受講
(6)研修の受講	8/3	

□ 障害福祉サービスの実施

事業	実施状況	事業内容
(1)居宅介護事業	年間	障害者総合支援法による、身体介護・家事援助などの訪問介護サービスの提供。 ⇒延べご利用者数 1355人(月平均113人)
(2)重度訪問介護事業	年間	常時、介護が必要な障害児・者に対して、継続的なサービスを提供する。 ⇒該当なし
(3)同行援護	年間	視覚障害者の方の外出支援、移動支援を行った。 ⇒延べご利用者数 21人(月平均2人)
(4)地域支援事業	年間	町の地域支援事業による、移動サービスの提供を行った。 ⇒延べご利用者数 58人(月平均5人)
(5)社会参加促進事業	年間	町の社会参加促進事業による、タクシー運賃助成の適用 ⇒該当あり 115枚(年間)
(6)研修の受講	9/27, 10/7, 16	権利擁護推進員研修受講

②いきいき 趣味活動	年間	「いきいき趣味活動」 受託3プラザのみでの開催実績			
			教室数	のべ開催 回数	のべ参加者 人数
		鶴川プラザ	2教室	33回	265人
		弓削プラザ	1教室	11回	66人
		鏡プラザ	3教室	32回	282人
		*「いきいき趣味活動」は、指定管理を受託している3プラザ以外でも開催しており、その総数はP15に掲載しています。			
		貸館事業実績(上段：利用件数/下段：のべ利用人数)			
			鶴川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
		竜王町	1件 35人		
		町事業委託 先事業所	1件 40人		23件 520人
(3)貸し館事業	年間	関係福祉 団体			
		自治会	1件 71人	1件 103人	
		その他	1件 92人		2件 86人
		選 挙	3件 21件		
		合 計	7人 259人	1件 103人	25件 606人

①生涯現役事業	年 間	「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の実施。			
		町から介護予防事業として委託を受けている生涯現役事業については、鶴川、弓削、鏡ふれあいプラザを会場に、概ね60歳以上の方を対象に多様な教室を開催し実施した。			
			鶴川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
		余暇活動	53回/849人	25回/202人	40回/251人
		交流支援	29回/462人	2回/20人	1回/6人
		運動機能向上	51回/477人	33回/306人	0回/0人
		文化活動	38回/234人	25回/166人	12回/126人
		自学自習	51回/440人	7回/23人	6回/28人
		ボランティア活動	12回/135人	0回/0人	238回/96人
		合計	234回/2597人	92回/717人	82回/507人
<p>（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は中止）</p> <p>・生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」の実施（延べ人数）</p> <p>余暇活動…囲碁・将棋・健康麻雀、ミニ卓球でラリー・輪になって歌おうなど趣味活動に地域の方と誘い合って初めて参加し継続して挑戦していただいている方も多い。</p> <p>交流支援…ワンデイシェフの店“えんがわ”、フリーマーケットの交流では多世代の参加が増えてきた。お菓子作りでは、趣味で得意とされている方に講師となってもらった。</p> <p>運動機能向上…DVDヨガ体操やDVD健康体操（毎週1回）の定期的実施。毎月1回は講師を招いて3B体操、ゆったりヨガ、健康リズム体操を実施。</p> <p>文化活動…パッチワークや着物リメイク講座、ミシン講座「社会福祉大会」「竜王町文月発表会」や「竜王町文化きらめきフェア」での展示。また、牛乳パックで小物作り、折り紙講座、音読講座、絵手紙など。</p> <p>自学自習…パソコンのすすめにてミニコミ誌発行。健康講座、終活にかかる講座、認知症予防講座では、地域で誘い合っでの参加が多かった。また、思い出めぐり（回想法講座）でも地域の担い手も多く参加された。</p> <p>ボランティア活動支援…ワンデイシェフのお店にて料理を提供する。日曜大工で靴履き椅子を製作し、各プラザに配置した。また、プランターに花の苗植えし公共機関や病院等に飾ってもらった。</p>					